

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	6 月	21 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中川(崇)	中西	橋詰	

文化財名	高井の千本杉				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1981年(昭和56)3月17日				
所在地	宇陀市榛原高井679番地				
所有者 管理者	個人				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) スギ			(樹齢) 推定樹齢500~600年	
案内板の状況	説明板はよく見える				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足				
当面の課題	特になし				
今後の課題	特になし				
その他 (由緒など)	大阪から伊勢本街道沿いにあり、16本の杉が成長する過程で合体し、1本になった大変珍しい杉の巨樹。元来は井戸の周りに杉を植えることが始まり、実際に、千本杉の周囲には井戸が残されており、日本最古の「井戸杉」としても知られる。また、弘法大師(空海)が室生山に登る途中で、この地で弁当を食べ、置いていった橋が成長したという逸話も伝えられている。				
コメント	高井の千本杉は約1m四方の古い井戸の周囲に数本の密植された杉が成長過程で株元が癒着した連理材形式のもので、地上1m位から16本の枝幹が数えられるらしく、樹高約30mの巨大なものであると言われている。迫力に圧倒され尚且つ神秘的である。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	6月	21日	記入者	橋詰輝己
調査者名	石井	中川(崇)	中西	橋詰	

文化財名	高井の千本杉
------	--------

南側 (これより立ち入り禁止)	東側
-----------------	----



南側には鳥居が置かれている

説明板の奥に千本杉がある



千本杉の説明板

千本杉近くに宇陀市の案内図

